

平成 21 年 4 月 8 日

各 位

会社名 株式会社レナウン
代表者 代表取締役社長 中村 実
(コード番号 3606 東証第一部)
問合せ先 法務・IR部長
山内 浩史
(TEL: 03-5496-8092)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 15 日に公表いたしました平成 21 年 2 月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 21 年 2 月期業績予想数値の修正 (平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

(連結)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	164,000	△4,500	△4,500	△7,000
今回修正予想(B)	156,000	△7,500	△7,600	△12,300
増減額(B-A)	△8,000	△3,000	△3,100	△5,300
増減率(%)	△4.9%	—	—	—

(単体)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	81,500	△3,600	△3,400	△4,700
今回修正予想(B)	78,800	△6,100	△6,100	△16,500
増減額(B-A)	△2,700	△2,500	△2,700	△11,800
増減率(%)	△3.3%	—	—	—

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値が異なる可能性があります。

2. 修正の理由

<連結>

売上については、単体の売上減少およびアクアスキュータムロンドンの為替変動により、前回予想を大きく下回る見込みであります。

また、営業利益・経常利益・当期利益についても、単体の損失計上により、前回予想を大きく下回る見込みであります。

<単体>

消費者の節約志向や生活防衛意識が高まり、特に昨年秋以降は買い控えが一層拡大し、12月の冬物商戦は大変厳しい結果となりました。秋冬物正価販売の苦戦により、1月以降は在庫圧縮を推し進めたことにより正価販売金額の減少、割引販売比率の増加を招き、売上及び利益額が減少するとともに利益率が予想より低下することとなりました。経費の更なる圧縮等を全社上げて取り組み若干の経費削減が図れたものの利益の減少分を補うまでには至らず、営業損失・経常損失は前回予想を大きく下回る見込みであります。

また、現在取り組んでおります構造改革の一環として、保有不動産の売却、事業所の集約、希望退職の実施等に伴う特別損失が発生する見込みであります。併せて、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用により、棚卸資産評価損を計上する見込みであります。加えて、アクアスキュータムロンドン株式の価値を見直した上で株式評価損を計上する見込みであり、当期利益も大きく下回る見込みであります。

以上から、当社の通期業績予想を標記のとおり修正いたします。

なお、上記の業績予想には、本日別途発表いたしました「特別利益、特別損失の発生に関するお知らせ」記載の特別利益及び特別損失については、織り込み済みです。

以 上